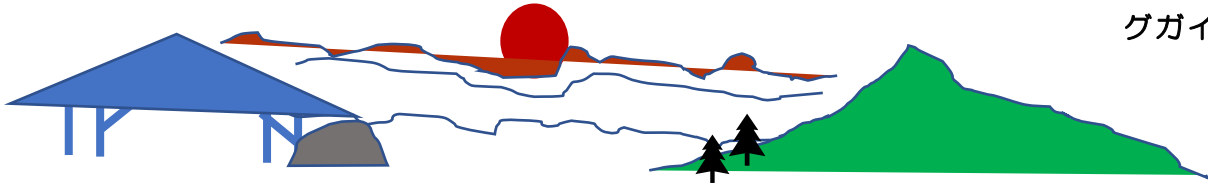


日のハイ通信

日の出山 第8号

令和6(2024)年
10月10日発行
日の出町ハイキングガイドの会



さと山は光と風のハ～モニ



「揺るがぬ天の中心北極星」信仰、妙見宮七星殿

妙見宮七星殿みょうけんぐうしちせいでんは東光院の境内、平井丘陵の小高い山の上にある。この韓国風の極彩色の美しい建物の開創は古く西暦685年に遡り、時の天武天皇によって関東地方開発の勅命を受けた百済くだらの豪族が、大和斑鳩やまといかるがの法輪寺かんじょうの妙見菩薩を勧請し、当地平井に祀ったことが起源と伝えられる。

妙見様とは、星に対する信仰である妙見信仰に由来。古くから民衆の守り神として広く信仰を集め、星々を人それぞれの運命とし、天の中心となる北極星を妙見菩薩として崇拝するもので、天の中心からいつも人々の営みを、見通し運命も左右するという北極星の力を湛えた呼び名という。

七星殿の由来は、北極星の周囲を廻る北斗七星のことで北極星の眷属けんぞくである七星菩薩とも、妙見様の宮殿ともいわれる。明治15(1882)年の大久野焼けて焼失後、昭和62(1987)年、韓国の資材と職人によって再建された。 日の出 WALK (観光マップ)【G-4】等参照作成)

「私と山との出会い」

箱山正憲

私と山との出会いはハイキングガイドの会の講座を受講した母に、友の会に入るように誘われたことがきっかけだった。

毎日障害者の施設に通所している生活に少し物足りなさを感じていたので、これはチャンスだと思い入会することにした。

最初は自信がなかったので登山ではなくハイキングに参加することにした。しかしその日はハイキングとは名ばかりで、ハードで歩いて歩いてもゴールに辿り着かない感じがかった。ただ他の参加者の人達もしんどそうにしていたので、ある意味での連帯感と達成感を感じることができた。

思えば子供の頃からよく家族で歩きに出かけていた。

私は基本的に運動が苦手だったが長距離歩くことに関しては比較的が強かった。今思うと、足が強かったことがせめてもの救いだった。得意不得意の差が大きい私にとっては良い自己表現の手段になっていたのだと思う。

ところで今の私にとっての山は身体を鍛える場所という意味合いが大きい。思いきり疲れて汗をかいて帰ってきて満足するという感じだ。もちろんそれも山の楽しみ方の一つだと思う。しかし、他の参加者の方々の山そのものの知識や植物の知識には驚かされるばかりである。

私も植物の本を買ってみたりはしたが、山に登ることに精一杯でなかなか調べるところまでいかない、私にとっての課題はまだまだあるとおもう。

ただ前に回転して行く登山靴

私の魂ちょこっと乗せて



暑い夏、私の散歩道

ガイド 石川剛

「朝ドラ」が終わるのを待ってザックを背に歩き出す、東平井橋を渡り、キバナコスモス咲く坂道の途中に、野鳥の森①の入口、案内図と、カエントケ、写真入りの注意書きが貼られている。

舗装道路を歩いて、山道に入ると、ほっとするほど涼しい、野鳥の森と言えども鳥の声は無く、ミンミンゼミ、時折、シャワシャワとクマゼミが鳴く。日の出アルプスの杭を見て行く、クマの目撃情報が出てからは熊鈴をザックの背負いバンドに付け、左手にタオル、右手は小枝を拾い、ブーンと来る虫をタオルで払い、蜘蛛の巣を小枝で払う、右手がおろそかになると蜘蛛の糸が顔にベターと来る、耳の穴に飛び込んだ虫を小指で欠き出だしたり、木の根元から飛び出したゼミに体当たりを食らったり、カモシカに出会える事もある。

沢を離れ急登をこなし尾根に上がる、右側は西多摩霊園、左は野鳥の森が広がる谷野入り展望台、細い木が伸びてベンチに座ると大岳山も見えづらくなってしまった。

平成新道に入り、小鳥の餌台の所、枯れたコナラのテーブルとベンチ、餌台に集まる小鳥を観察するには良い所。⑩の下、山ノ神尾根の頭、去年はマムシが居座り、危険立ち入り禁止だった、新しいベンチが出来たが、連日暑くて寄れず、此の先のアカシデに囲まれ風通しの良いベンチが憩いの場になっている。ベンチに横になり見上げると、節くれだった枝の先に小さな葉が風に揺れて光っている。狭い空に線を引くようにツバメが飛び交い、聞こえるのは、ツクツクボウシの合唱のみ。

Y夫妻が来て、カエントケが出ている、と言っていた。入れ替わりに同い年のHさんが足下田から登って来て世間話をする。涼しい風についていって長居をしてしまったと言いながら去って行く。暫く下手な笛を吹き、谷野入り古道を下る。

9月22日(日)白谷沢～棒の折山登山

ガイド 神野善太

登山には天候判断が欠かせないので、多くの情報を集めるのだが、その中でも頼りにしてしまうのが、「てんきとくらす」という無料サイトであり、山の天気を検索することができる。今回は悪天候が予想されたのだが、このサイトでは曇りの予報が出ており、予定通り飯能駅に集合し、登山口のさわらびの湯までバスで向かった。実際は飯能駅でもさわらびの湯でも小雨が降っていたのだが、大雨にはならないという判断で、白谷沢の登山口に向かった。途中の名栗湖は美しいロックフィルダムでできているので、このダムが地震に強い構造であることなどの説明をして登山口に到着し、沢の水かさが増していないこと、沢部分を通過する間に大雨がないことを確認し、予定通り白谷沢から登山を開始した。白谷沢は、まさに沢登りの雰囲気、渡



渉箇所も多いが、濡れずに歩けるのが素晴らしい。また、急峻なV字谷（ゴルジュ部）の景色も大迫力の登山である。雨も止み、秋風の中楽しい登山となった。



棒の折れ山（棒の嶺）からは、東京都側（奥多摩町大丹波）に下山した。

こちらは登山道がよく整備されており濡れていてもスリップすることなく下山でき、バスに乗らず川井駅まで歩き通した。合計時間7時間、休憩時間1時間25分、距離10.8km、のぼり897m、くだり910mの登山であった。

山で出会う炭焼き窯跡に思う

ガイド 増澤 強

奥多摩の山々を歩いていると時々炭焼き窯の跡を目にする。その多くは多摩川沿いの右岸左岸の山々を歩いているときに多い。東京にあるブナの天然林で知られる三頭山にも登山道わきにこの炭焼き窯の跡が残っていて説明板が置かれている。このルートは三頭大滝を眺めてから沢を詰め、ムシカリ峠から三頭山の山頂へ至る最短の登山者がもっとも多いルートである。炭焼き窯跡は石の多い沢の脇にあり標高でいうと1000mを十分超える位置にある。

炭には白炭と黒炭の2種類がある。白炭は赤く燃え盛る1000度を超える高熱の炭を長い金属棒を使って窯の中から外へ引き出す。その上に、たっぷりと水分を含んだ炭の粉を含む灰を掛ける。そのため炭の表面には白い灰の跡が残る。一方、黒炭は傾合いを見て窯に蓋をして空気を遮断し温度が下がるのを待つ。その後窯の入口を開け、人が中に入って蒸し焼き状態の黒炭を運び出す。黒炭は窯内の温度が700度程度と低いので白炭に比べ火もちの点では劣るが窯の中の作業は熱くてたまらない。



白炭の整理作業(佐渡島)

いずれにせよ、山の斜面で木を切り出して運び、長さを揃えそれを窯の中に立て、火を入れて焼く。焼き出した炭は運びやすいように長さを揃えてカットし荷造りする。一日の労働で疲れ切った体に男性なら約60kg、女性でも40kgほどの炭を背負って山道を家路に付く。これが炭焼きの冬の仕事であった。

「友の会」関連行事の紹介

ここでは、令和6年10月から令和7年2月にかけて『日の出町ハイキングガイドの会』が主催するハイキングと登山について紹介致します。

ハイキングは概ね半日程度の里山歩きから始め月に一回程平日に予定。また、登山についてはハイキングよりも標高差や距離がやや長めで休日に設定してあります。(歩程時間：休憩時間を除くおおよその目安です。)

どちらも日の出友の会会員の皆様から、先着順で受付け、定員に達し次第締切ります。早めにお申込みください。令和7年3月以降の計画については日のハイ通信9号(令和7年1月頃発行)に掲載予定です。

I. ハイキング(事前申し込み制)

◎ 10/31(木) 雷電山～辛垣城

JR 軍畑駅前 8:20 集合

コース 軍畑駅…榎峠…雷電山…辛垣城址…三方山…矢倉台…青梅駅 (歩程約 3.5 時間)

◎ 11/14(木) 菊花山～御前山

JR 大月駅前 8:00 集合

コース 大月駅…菊花山…馬立山…御前山…神楽山…大月駅 (歩程約 3.5 時間)

◎ 12/12(木) 蛇滝口～高尾山薬王院

JR 高尾駅(北口)前 8:00 集合

コース 高尾駅＝蛇滝口…薬王院(年末詣)…高尾山頂…稲荷山…清滝 (歩程約 4 時間)

◎ 1/16(木) 御岳山(初詣)～日の出山

JR 御嶽駅前 8:25 集合

コース 御嶽駅＝ケーブル下…滝本＝御岳山…武蔵御嶽神社(初詣)…ロックガーデン…日の出山…つるつる温泉 (歩程約 4 時間)

◎ 2/20(木) 浅間嶺～時坂峠～払沢ノ滝

JR 武蔵五日市駅前 8:00 集合

コース 五日市駅＝上川乗…浅間嶺…時坂峠…払沢ノ滝…払沢ノ滝入口 (歩程約 4 時間)

II. 登山(事前申し込み制)

◎ 10/13(日) 市道山～醍醐丸

JR 武蔵五日市駅前 8:00 集合

※…上川乗乗り換えで3停留所戻る

コース 武蔵五日市駅＝上川乗＝笹平…市道山…醍醐丸…和田峠…陣馬高原下＝高尾駅 (歩程約 5 時間)

◎ 11/10(日) 今熊山～刈寄山

JR 武蔵五日市駅前 8:00 集合

コース 武蔵五日市駅…今熊…今熊神社…入山峠…刈寄山…沢戸橋…武蔵五日市駅 (歩程約 5 時間)

◎ 12/8(日) ゴンザス尾根～本仁田山

JR 奥多摩駅前 8:00 集合

コース 奥多摩駅…日向…チクマ山…本仁田山…瘤高山…大根ノ山ノ神…鳩ノ巣駅 (歩程約 5 時間)

◎ 1/12(日) 倉岳山～高畑山

JR 梁川駅前 8:05 集合

コース 梁川駅…立野峠…倉岳山…穴地峠…高畑山…鳥沢駅 (歩程約 5 時間)

◎ 2/24(月、振替休日)高尾山～景信山

京王線高尾山口駅前 7:30 集合

コース 高尾山口駅…高尾山…小仏峠…景信山…小仏＝JR 高尾駅 (歩程約 5 時間)

III. 申し込み後のキャンセルについて

申し込み締め切り後、催行予定の概ね一週間前迄には、申込者に参加の可否についてお知らせ致します。申し込み後、何らかの理由で止むを得ず参加出来なくなった場合には、その旨速やかに連絡願います。交通機関のダイヤ改正等により集合時刻の変更があれば、参加申込者に連絡します。

IV. 雲取山登山について

雲取山登山(10/24～25)に、お申込みの方は、概ね一週間前迄には詳細連絡致します。

V. 日のハイ通信について

◎ バックナンバー

右の二次元コードからこの8号をはじめ、今まで発行済みの「日のハイ通信」をカラー版で閲覧可能です。



◎ 日のハイ通信に関するご意見等は下記へ

Email: mk.3193@outlook.jp

日の出町ハイキングガイドの会会長石川剛苑